



さんないまるやま つうしん

第 43 号

平成 19 年 8 月 2 日

青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡対策室

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1  
TEL (017) 734-9924  
FAX (017) 734-8280

三内丸山遺跡展示室

〒038-0031 青森市三内字丸山293  
TEL (017) 781-6078  
FAX (017) 781-6103  
URL: http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/

# 三内丸山通信



## 第31次

2007.5.22~

# 発掘調査スタート

## 環状配石墓の調査

第三十次発掘調査が始まりました。  
今年の調査は「環状配石墓」です。

### 環状配石墓とは

お墓の周りを円く取り囲むように、長さ三〇程度の川原石が並べられているのが特徴です。円の直径は約四メートル。石の並べ方には、縦方向と横方向を規則的に組み合わせている部分が見られます。円の中には大人が横たわることができる大きさの穴があります。

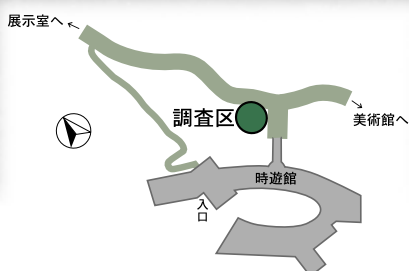
これまでの発掘調査で、遺跡南西部の園路下に縄文時代の道路があり、それに沿って環状配石墓が並んでいることがわかっていました。

### 今年の調査は

環状配石墓はこれまでに二二基見つかっています。今年には石の数が多く、中には墓が確認されている三基を選び、石の種類や置き方、造られた時期等を詳しく調べます。



第11号環状配石墓



発掘調査現場の場所

### 見学・ガイド

九月二十一日まで、平日の午前九時～午後五時は発掘の様子を見学できます。

午前十時三十分からは発掘担当者による「現場ガイド」も行なっています。  
なお、土・日・祝日・八

月十三～十七日は発掘調査を行ないません。また、雨天等の際は発掘調査を中止

する場合があります。九月中旬には現地説明会を予定しています。

## あomorい縄文まほろば展

～縄文遺跡群の世界遺産登録を目指して～

七月八日から十六日、東京の江戸東京博物館で、「あomorい縄文まほろば展」が開かれました。

今回は、二月に大阪で行われた展示の第二弾で、県内の縄文時代の遺跡から出土品、約四〇〇点を展示しました。

青森県は縄文遺跡の宝庫といわれ、貴重な遺跡がたくさんあります。一万年以上続いた縄文時代の全時期の遺跡があり、そこから出土した優れた出土品が数多くあります。

### 今年も大好評

会場にはたくさんの方の見学者が訪れました。数多くの土器やさまざまな形の土偶などの興味深い出土品に見入っていました。

現在、青森県は北海道や岩手・秋田両県とともに縄文遺跡群の世界文



化遺産登録を目指して活動しています。今後さらに活動を広げていく予定です。



# 世界遺産

## を目指して

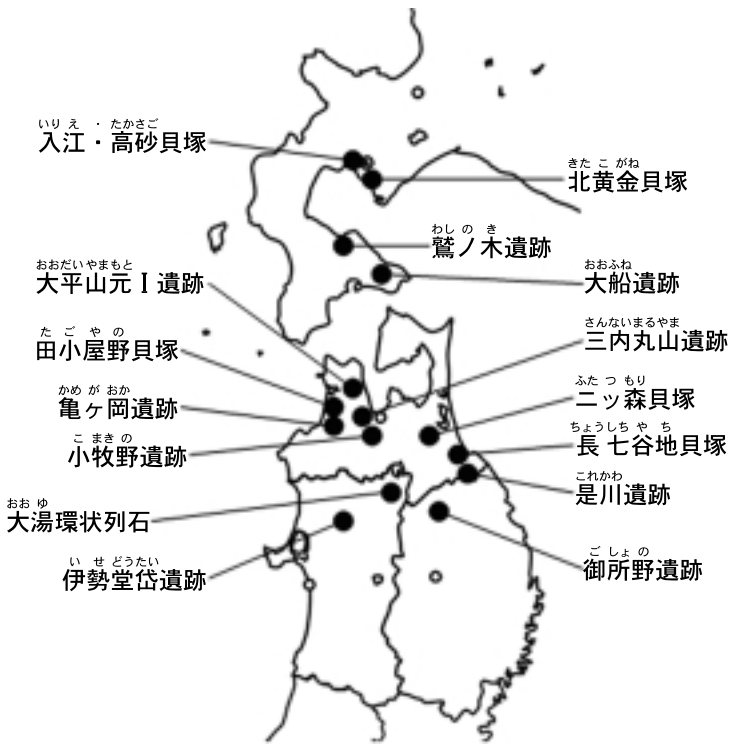
北海道、青森県、岩手県及び秋田県の四道県は、縄文遺跡群の世界文化遺産登録を目指しています。

このため四月、世界遺産暫定一覧表登録に係る共同提案について検討するための「縄文遺跡群世界文化遺産登録推進会議」を設置しました。

### 候補は一五遺跡

六月に開催された第二回の会議では、資産の名称を「北海道・北東北の縄文遺跡群（仮称）」とし、青森県に所在する八遺跡を含む一五遺跡を、世界遺産暫定一覧表への登録を提案する構成資産の候補としています。

今後、提案書の検討作業において、提案コンセプトの基本的な考え方と世界史上の位置づけの整理、各遺跡の周辺環境を含めた保存管理計画の整理等を進めていき、提案書を提出します。皆様には、縄文遺跡の魅力と価値について理解を深めていただくとともに、世界文化遺産登録に向けた四道県の取組みにご理解とご支援をお願い申し上げます。



資産候補遺跡位置図

# つくって学ぼう！ 縄文教室で

今年も縄文教室がスタート。六月九日には第一回目の「土器作り」が行われました。

## むずかしかった？ 土器作り

粘土で実物の土器をまねながら作りました。形を作るのに苦労した参加者もいました。四時間ほどで二個の土器が完成しました。それぞれ、世界に一つしかない、自分だけの「円筒土器」ができあがりしました。むずかしかったという意見もありましたが、楽しかったという感想が多く寄せられました。いっしょに参



「土器作り」のようす

加した大人も、子供のころにもどったように一生懸命

に粘土をこねていました。作った土器は乾燥させ、十月二十日(土)に野焼きをして完成する予定です。

## これからの予定

縄文教室はこれからも行います。これからの受付メニューは石器作り、編みカゴ作りなどがあります。身の回りの自然のものをうまく利用した縄文時代の生活を体験してみてください。

詳しいことは、九月の始め頃にホームページなどでお知らせします。皆さんの参加をお待ちしています。  
\*\*\*\*\*



木柱にみる技

昨年調査で見つかった木柱(掘立柱建物の柱の根元)の洗浄が終わり、下の写真はその木柱の底面です。

## いい仕事しています

直径約六〇センチもある木柱の底面は、平らに加工されていました。

模様のように見えるのは石斧で削られた跡です。くわしく見ると、外側の方には、弧を描くように長く削っている所や、中央に向かって細かく削っている所があり、縁の部分では角を取るように小さく削っています。

向きは三方向くらいにまつまっています。また、木柱の側面は、樹皮を剥がし、節も落としていることが分かります。縄文人の「技」が生々しくよみがえるとともに、四千年以上前の縄文人の息づかいまでも聞こえてくるかのようにです。



昨年の第30次調査で見つかった木柱の底面  
(中央に見える十字の線は糸です。横糸の長さは30センチ。)

## 三内丸山遺跡の —ご案内—

### 交通

JR青森駅から 車で約20分(約7km)  
市営バス「運転免許センター」行き  
「三内丸山遺跡」下車  
青森空港から 車で約30分(約8.5km)  
東北自動車道青森I.C.から 車で約5分(2km)  
青森港フェリー埠頭から 車で約30分(7km)

### 遺跡の開園時間(平成19年4月1日～)

4月～5月:午前9時～午後5時  
(入場は午後4:30まで)  
6月～9月:午前9時～午後6時  
(入場は午後5:30まで)  
10月～3月:午前9時～午後5時  
(入場は午後4:30まで)

冬季は雪道になっております。  
歩きやすい靴でおこし下さい。

休館・休業日 年末年始  
(12月30日～1月1日)

遺跡の入場料 無料  
(時遊館・展示室も入館無料)

駐車場 普通車用、大型車用あり  
(料金無料)  
身障者用駐車場もございます。